



ぎおんばら

- 目指す学校像
- 明るく活力のある学校
 - 学び合う楽しい学校
 - 一人一人が目標に向かって精一杯頑張る学校
 - 保護者・地域と連携し、信頼される学校

平成31年1月28日発行 発行者：谷田部 二三子

後期も後半に入りました。この期間は、今年度のまとめであり、来年度への準備期間でもあります。特に、6年生は、中学校に向けての大事な期間です。そこで、1月10日の音楽集会の時に、「みんなの声が混じり合うと、響き合って気持ちよくなるね。それは、一人一人の声が違うからだよ。」と、一人一人の個性や考え方の違いを認め合って、仲良く協力していくことの大切さについて話しました。「残り約2ヶ月。自分たちはそれができているか、合わないからといって喧嘩をしたり仲間はずれにしたりしていないか、もう一度自分自身、自分のクラスを振り返り、誰もが安心して過ごせる居心地の良いクラスにして、進級、卒業しましょう。」と話しました。

学校教育診断の結果について

11月に実施した「学校教育診断」の結果をお知らせします。この結果と、教職員による学校評価の結果をもとに、来年度の改善策を検討しているところです。保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

回収率	児童：99.4%	保護者：94.8%
達成度	$\frac{\{Aの回答数 \times 3 + Bの回答数 \times 2 + Cの回答数 \times 1 + Dの回答数 \times 0\}}{(回答数 \times 3)} \times 100$	
	A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない	

①子どもは、学校で楽しく、安心して過ごしている。

児童、保護者とも、良好な結果でした。児童からは、「友達が優しいから」「友達とたくさん遊べるから」などの意見が数多くありました。一方で、「けんかやいじめがあるから楽しくない」という回答もありました。児童にとって、学校が楽しいかどうかは、友達とうまくいっているかどうかが大きいです。また、「授業が楽しい」という意見も多数ありました。今後も、児童同士の関係づくりや「できる・分かる・楽しい授業」に努めたいと思います。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	256	67	14	8	88.5	88.5
保護者	234	84	10	0	89.4	88.6

②子どもは、学校でいろいろできるようになったことで、自信をもって過ごしている。

児童、保護者とも、概ね良好な結果でしたが、昨年度より少し下がってしまいました。A・Bを選んだ児童からは、「先生や友達が分かりやすく教えてくれた」「ほめてもらえて自信がもてるようになった」「努力したらできるようになった」「少し恥ずかしいけれど、自分の考えを言えるようになった」といった意見が出されました。周囲の人からの受容・称賛や、成就感・達成感などが自己肯定感につながっているようです。今後も、そのような関わりを増やしていきたいと思います。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	210	118	15	2	85.1	85.8
保護者	187	124	18	0	83.8	83.5

③学校は、子どもが明るく元気に活動できる、望ましい教育環境づくりを行っている。

児童・保護者とも、良好な結果でした。「校庭が広い」「パソコンや様々な教材がある」などの意見が多く出されました。今後も、学習効果が上がるような教材を充実させると共に、施設・設備の早期の修繕、改善に努めてまいります。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	274	60	9	3	91.6	89.5
保護者	220	102	8	0	88.1	84.5

④教師は、子どもの話をよく聞いて、指導している。

児童・保護者とも、良好な結果でした。「先生は、自分のことをやっても、話しかけると聞いてくれる」「相談に乗ってくれて、うなずいてくれる」などを読むと、受容や共感する姿勢が児童に安心感を与えることが分かります。通常での関わりの外に、学級の満足度に関する調査や教育相談などを活用して、児童の悩み、困り感などの把握にも努めています。そして、困ったときは気軽に相談できるよう、児童と教職員との信頼関係をさらに深められるようにしたいと思います。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	263	67	11	4	90.2	87.9
保護者	224	93	11	1	88.0	84.4

⑤教師は、学習内容が子どもによく分かるように、熱心に授業をしている。

児童・保護者とも、良好な結果でした。「分かりや

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	293	41	8	3	93.6	91.6
保護者	226	89	11	3	87.8	85.4

すく丁寧に教えてくれる」といった意見が多数ありました。本校の児童は、学習意欲が高く、課題に対して一生懸命取り組みます。今後も、基礎的・基本的な内容の定着はもちろん、「主体的、対話的で深い学び」をキーワードに指導法の工夫・改善に努めて参ります。

⑥教師は、「やるべきこと」や「やってはいけないこと」など、人として大切なことを子どもに指導している。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	300	36	10	0	94.6	94.4
保護者	252	68	9	1	91.0	87.3

児童・保護者とも、良好な結果でした。「当たり前のことを当たり前やる」を合い言葉に、長年ぶれずに指導してきた成果とも言えます。どの学年も、「やって良いこと、良くないこと」をきちんと指導されていると受け止めているようです。それでも、時々、やってしまってから「しまった！」ということも。自分自身で正しく判断することができるよう、今後も、毅然とした指導、心を育てる指導に努めてまいります。

⑦教師は、子どもの「よいところ」や「努力したこと」を適切に認めている。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	263	72	5	5	90.6	89.0
保護者	239	79	18	9	86.3	85.5

児童・保護者とも、良好な結果でした。人は誰しも承認欲求をもっています。それが満たされたとき、自分への自信や、さらに良くなろうとする意欲が湧くものです。しかし、よい結果が出たときだけ褒めていては、児童は結果の善し悪しばかりを気にするようになってしまいます。今後も、その子自身がもっている良さや努力の過程に目を向け、認めていきたいと思えます。

⑧お子さんは、あいさつがよくできる。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	176	126	35	5	79.4	79.0
保護者	128	165	35	2	75.7	75.6

挨拶については、今年度の重点課題の一つでしたが、「大きな声で挨拶すると気持ちいい」等と答える児童が多くいる一方で、「恥ずかしくてできないときがある」と答える児童もあり、できる児童とできない児童の二極化が見られます。挨拶は礼儀であり、コミュニケーションの第一歩でもあります。いつでも当たり前で挨拶ができるよう、学校と家庭とが連携して取り組めたらと思います。

⑨お子さんは、玄関でくつをきちんとそろえることができる。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	225	80	27	11	83.8	83.0
保護者	82	142	76	14	62.3	59.5

靴箱の靴やトイレのスリッパを揃えることも、長年本校で取り組んでいることです。「きれいじゃなかったら、なるべくそろえている」「友達がやるから、やらなくちゃと思う」「次の人が使いやすいようにそろえている」等、学校では意識してやっていますが、家庭では忘れてしまう児童が多いようです。これも、いつでも当たり前でできるよう、ご家庭でのご協力をお願いします。

⑩お子さんは、家で進んで読書をしている。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
児童	161	96	65	19	72.3	74.5
保護者	119	96	78	37	63.3	64.8

昨年度を下回り、課題の残る結果となりました。本を読むのが好きで、毎日読んでいる児童がいる一方で、「本を読む時間がない」「文字を読むのが苦手」「あまり好きじゃない」と、あまり読まない児童がいるといった二極化がここでも見られます。本から多くのことを学ぶことができます。感受性豊かなこの時期に、様々な本に触れさせたいと思えます。学校では、読書の時間を設けています。ご家庭でも一緒に読んだり、読書環境を整えたりしていただくと幸いです。

⑪学校は、適切な教育方針を立て教育活動を進めている。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
保護者	163	96	13	0	85.0	81.7

⑫懇談会や各種たより、学校ホームページ等を通して、情報提供が適切に行われている。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
保護者	164	93	6	0	86.7	81.2

⑬子どもの成長のために、学校と保護者・地域が協力し合っている。

H30	A	B	C	D	達成度	H29
保護者	142	112	10	0	83.3	80.5

本校の教育方針については、国や県、市の動向を踏まえ、児童の実態に基づいて立案しております。今回のアンケートや学校評価の結果をもとに、よいところはもっとよく、課題については改善に向けて、様々な意見を聞きながら検討していきたいと思えます。また、保護者や地域の皆様に学校のことを知っていただき、児童の健全な成長を共に支える存在となっただけならばと考えております。年度途中から、自治会長様にご協力をいただき、校長室通信の自治会回覧を始めたところ、思っていた以上の反響をいただきました。ありがとうございました。来年度は、学校という場で、児童と地域の方とがふれあえる機会をさらに増やしたいと考えているところです。その中で、地域の皆様と私たち教職員の思いを共有できたら幸いです。

今回は紙面の都合上、「私が見つけた『祇園小のここがステキ!!』」はお休みします。